

特別研究課題中間評価 評価委員長 総合所見

1. 研究課題名：地震発生過程の詳細なモデリングによる東海地震発生過程の推定精度向上に関する研究

2. 委員氏名：「委員長」平 啓介
「委員」石田瑞穂、田中正之、泊 次郎、渡辺秀文

3. 評価日：平成14年10月16日

4. 継続の可否

- ☒ 研究計画通り継続したほうがよい。
☐ 研究計画の次の点を再検討したほうがよい。
[検討すべき点]
- ☐ 研究計画を全面的に変更したほうがよい。
[変更すべき方向]
- ☐ 研究計画を中止したほうがよい。

5. 新たな研究課題の設定

- ☒ 得られた研究成果に基づき、新たな研究課題を設定したほうがよい。
[課題名] 南海トラフに沿う広域の地震発生 の推定に関する研究
(内容) 「東海地震」の発生域が広域にわたることが、最近の研究により明らかになった。GPS、水位等の新しいデータを完備し、スローイベント特性の解明を目指す。
- ☐ 新たな研究課題を設定する必要はない。

6. 事前評価は適切であったか。

- ☒ 適切であった。
☐ 不適切な面があった。
[不適切であった点]

7. 総合所見

地震発生シミュレーションで信頼できる成果を得たこと、新しいデータが活用されたこと、が評価できる。

スローイベントと地震発生 の関連が今後進展することが期待される。

8. 評価方法に関する意見

十分な資料が用意され、適切なプレゼンテーションがなされた。